

# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
1	文書	千旦林	1	騒音	山梨県でのリニアが500キロ走行のときの10m離れた地点での音は何デシベルだったのでしょうか。	知事への意見ではなく、直接JRに確認いただく内容
			2	騒音	防音のために防音壁ではなくすべてフードで囲ってほしい。	●「騒音・振動（6）」に明かり部分の対策要望を記述
			3	騒音・磁界	市から商工会議所などに建設予定地付近の住民の迷惑を考えず、フードを取るなどのような意見を絶対言わせないように要請してください。	市が受け止める内容
			4	騒音	500台の通行に対するJR東海の住民に対して、迷惑をかけることへの考え方を明らかにさせてください。	市からJRへ意見書とは別に伝達すべき内容
			5	その他	今環境に適合していても、将来において様々な問題が発生したときの対応を明らかにさせてください。	●「その他（2）（4）」に同趣旨記載
2	文書	千旦林	6	日照障害	季節ごと、時間ごとに日照障害が発生する範囲を地図上に示してほしい。	●「日照障害（1）」に引用
			7		茄子川の鉄道施設の高さを35mと想定している理由の見解を。	●「日照障害（2）（3）」、「景観（4）（5）」に問題を発生させない対策を要望する内容として記述
			8		麦の穂学園の鉄道施設の高さをもっと低くできない理由の見解を。	
			9		路線北側では日照に加え、騒音、振動、さらに精神的ストレスも発生することから、建築基準法に基づく賠償算定でなく、リニアにあった賠償制度をつくってほしい。	市からJRへ意見書とは別に要望すべき内容（＝12、77）
			10	景観	岐阜県駅もイメージとして完成予定図を作成してほしい。	●「景観（4）」に記述
			11	騒音・振動・水環境	山梨実験線の工事中のような騒音、振動による壁のひび割れ、井戸水の水位低下の環境被害が想定されるが、家屋に対する適切かつ具体的な保全対策を示してほしい。	●「その他（4）」に適切な措置の検討と協議を行うことを記述
			12	その他	建物移転補償についてのJRの基本的な考え方は説明してほしい。	今後の問題として、JRへ意見書とは別に要望すべき内容（＝9、77）
3	メール	瀬戸	13	騒音・振動	現在生活している日常的な騒音・振動レベルを知りたい。	市が受け止め、対応する内容（後日、環境政策課で対応）
			14	廃棄物	工事用トラックの交互通行が困難。	●「その他（1）」に安全確保対策を、「その他（4）」に地元からの指摘に適切な措置を求める内容で記述
			15	廃棄物	家の数m前を1分、2分ごとにトラックが走れば、相当な苦痛がある。	
			16	廃棄物	上記のトラックの運行について、安全確保はどうしていくのか。	
4	文書	馬籠	17	事業計画	説明会の内容が建前どおりで、十分な議論もなく、市民の理解と納得をえたものと思わないでほしい。	市からJRへ意見書とは別に伝達すべき内容
			18	全要素	沿線住民や自治体の意見に真摯に耳を傾け、開業後に「想定外」というごまかしは絶対にしないほしい。	●「その他（2）」に記述
5	文書	山口	19	水環境	トンネルにより、河川や小川の水量が減少する可能性があり、稲作、畑作、鯉の飼育に影響があるため、地表を通すなど、保全措置を講じてほしい。	●「水資源（2）」に引用

# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
6	文書	茄子川	20	景観	準備書では景観の変化の程度はわずかと言っているが、私の住む場所からの恵那山、夜の工業団地の夜景も見えなくなる。	●「景観（４）（５）」に日常的な視点場から影響の大きいポイントとして記述
			21	廃棄物	子どもたちの登下校の安全性を確かめたい。	●「廃棄物（２）」「その他（１）」に通学・通勤経路に配慮した安全対策の要望を記述
			22	その他	旧国鉄の人が計画路線内の土地を共同名義で購入していることは、情報を知ったインサイダーではないか。	根拠に基づく意見ではないので採用できない
			23	その他	家の数十メートル前をリニアが通り、騒音を聴かされるのは我慢できません。路線から離れたところで生活したい。希望者のみ市による買収をしていただきたい。	市が受け止める内容
7	文書	団体	24	その他	中津川市環境保全会議の委員を現行の９名に加えて、リニア中央新幹線建設計画の準備書の多岐にわたる審議事項に対応するために、各専門分野からの委員の増員を求めます。	市が受け止める内容
			25	その他	中津川市環境保全会議ではリニア中央新幹線の事業計画の見直しを含め、時間をかけた十分な審議を行うことを求めます。	市が受け止める内容
			26	水環境	トンネルで通過する予定の山口地区、瀬戸地区、山の田地区等では井戸・湧水・小川の枯渇が予測されます。ＪＲ東海に改めて十分な「水文調査」の実施を求めて下さい。	●「地下水」「水資源（２）」に記述
			27	植物	ハナノキやシデコブシの生育環境が一部改変されると準備書に記載されています。「トンネルで砂礫層及び不透水層の下を通るから大丈夫」と準備書で見解を述べていますが、トンネル工事の振動により砂礫層及び不透水層が破壊される可能性があります。直下ではありませんが千旦林岩屋堂のシデコブシの群生地にも影響が懸念されるため、再調査を求めて下さい	●「動物・植物・生態系（３）」に記述 影響する全ての湿地を対象におく
			28	廃棄物	トンネル工事に伴う残土（建設発生土）の処理場所が決まっていないので、影響が予測されていません。早急に残土処理計画を具体的に示すように求めて下さい。	●「廃棄物（１）」に引用（＝37）
			29	地形及び地質	ＪＲ東海に対して細部まで判断できる「縦断面図」の公開と「区分地上権」の設定の範囲を明らかにすることを求めて下さい。	ＪＲへ別に要望すべき内容
			30	騒音・微気圧波・低周波音	防音防災フードを設置しないと騒音・微気圧波・低周波音の環境基準をクリアできないことになっています。また微気圧波や低周波音は近くにある坂本小中学校への影響も心配されることから、十分な対策を求めて下さい。	●「微気圧波」「低周波音（２）」に事後調査の実施と基準との整合性を要求する内容を記述
			31	磁界	乗客の安全を担保する観点から山梨実験線のリニア車内の磁界データを明らかにすることを求めて下さい。	●「磁界（３）」に同趣旨記載（＝42）
8	文書	落合	32	植物	ハナノキ・シデコブシは一部消滅する可能性があるとなっているが、一部とはいえ貴重な植物であり、絶対にあってはならないことである。	●「動物・植物・生態系（２）（３）」に環境保全措置を求める表現を追加
			33	動物	中部車両基地予定地にはオオタカが生息している。長期にわたる工事で生息地を追われることは明らかであり、計画を見直すべきである。	●「動物・植物・生態系（１）」にオオタカの専門家を入れた慎重な対応要求を記述
			34	水環境	井戸・河川（小さな川）の調査地点が異常に少ない。関係地域全般にわたって、小川・湧水・井戸の「水文調査」を「通年観測・複数年数調査」実施すべきである。	●「地下水」「水資源（２）」に工事前と工事後の調査実施を記述

# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
8	文書	落合	35	土壌汚染	ウラン鉱床について、ルート上のボーリング調査をJR東海が独自に行い、確認すべきである。	JRが調査を行ったと仮定しても、そのデータの確実性が重要である。「土壌」に掘削時の廃土処分に配慮でなく、十分注意することを明記
			36	地形及び地質	美濃帯に遭遇するようであるが、本来は回避すべきである。	土壌汚染には保全措置が明記されており、回避を是とすべきか判断しかねる。
			37	廃棄物	残土（建設発生土）処理が具体的に示されていない。準備書として不十分である。	●「廃棄物等（1）」に記述（=28）
			38	騒音・振動・微気圧波・低周波音	騒音・振動対策は不十分である。本来静寂な田園地帯に都会と同じレベルでは影響が大きい。「微気圧波」「低周波音」が発生し、家屋の防音対策も必要となる。	不十分とする根拠を明確にする必要がある。
			39	日照障害	日照障害は補償するとしているが根本対策ではない。緩衝地帯を十分に確保すべきである。	●「日照障害（3）」に補償問題が発生しないことを要求する内容で記載
			40	景観	木曾川橋梁、岐阜県駅、高架部分、車両基地、変電所などは景観の破壊となる。	必要施設として、法でどう改善をするかを検討している。個々の景観の捉え方による。
			41	植物・生態系	東濃地方に点在する湿地は特異な環境によって守られているが、トンネル工事で影響が心配される。トンネル工事の振動により「不透水層」が破壊され、湿地消失する可能性もある。	振動と湿地消失との関連性を具体的、位置的に示す必要がある。
			42	磁界	リニア客室の磁界データが示されていない。乗客の安全の見地からデータを公表すべきである。	●「磁界（3）」に同趣旨記載（=31）
			43	事業計画	南アルプスの貴重な環境を破壊すべきではない。ルートを変更すべきである。	岐阜県のルート外に関わる部分であり、市の意見として採用しない。
			44	事業計画	大深度地下・山岳トンネルの異常時の避難計画が不十分である。数人の乗務員で子供や高齢者を含む1,000人の乗客を避難誘導することは難しい。停電が発生した場合の非常電源について明かされていない。照明もなく非常口のエレベーターも動かない事態を想定しているのか。	●「その他（2）」に安全性の確保を記述。
			45	事業計画	少子高齢化・人口の減少が進み、需要の拡大どころか減少の可能性の方が現実的である。莫大な工事費の借金返済に窮し、税金の投入の可能性が高い。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
			46	事業計画	自然エネルギーが叫ばれている中で、膨大な電気使用のリニアは時代錯誤である。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
			47	事業計画	東海道新幹線の老朽化対策が先決事項である。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
48	事業計画	現在の新幹線で十分であり、新たな高速鉄道は必要ない。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。			
49	事業計画	リニア中央線計画は全国新幹線鉄道網とならない。従って全幹法を適用するのは間違いである。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。			
9	メール	中津川	50	水環境	山梨実験線では地下水は潤れる問題が発生している。苗木の浅間山をトンネルが通ると瀬戸地区、山の田地区などで河川や井戸の枯渇が予想される。水文調査は2箇所のみ。湧水と井戸及び主要な河川の調査を2回行ったのみ。	●「地下水」「水資源（2）」に記述
			51	地形及び地質	沿線にはウランを含んだ地質があると報告されている。	●「土壌」に記述

# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
9	メール	中津川	52	事業計画	リニア中央新幹線の運行には原発3基分の電力が必要となるとJR東海の会長がコメントしている。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
			53	磁界	電磁波の人体影響は疫学研究で4ミリガウス程度に対し、線路脇4mで1900ミリガウスである。イクニルプのガイドラインよりも低い電磁波であっても小児白血病、癌などの発症原因になる研究発表が多数存在している。	●「磁界（１）（３）」に同趣旨記述
			54	地形及び地質	東濃地域には日本でも最大のウラン鉱床があるといわれているが、JR東海は掘ってみないとわからないとしている。	●「土壌」に十分な注意と監視管理体制の構築を記述
			55	事業計画	事故時の喚起がどのように行われるかが問題である。	●「その他（２）」に想定外とならない安全性の確保を記述
			56	事業計画	中津川市民にとって必要なものなのか、上記の疑問点の明確な根拠の回答を求め、リニア中央新幹線事業は一旦凍結し、改めて市民に問いかけ、市民の意見と最大限に吸出した上で事業の継続に関してJR東海と市民とで話し合う場を設けていただきたい。市民全員の意見が一致するまで事業は凍結していただきたい。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
10	メール	中津	57	事業計画	トンネル内の事故対応が不明確です。	●「その他（２）」に想定外とならない安全性の確保を記述
			58	事業計画	断層や破砕帯の多い地震大国日本には不向きです。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
			59	事業計画	原発に頼らないエネルギー政策を模索している時、受け入れられません。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
			60	騒音・振動・磁界	強力な電磁波、騒音、振動などの問題が多く、住民の不安は深まるばかりです。	●「その他（３）」に記述
			61	事業計画	利用者や周辺住民の安全や暮らしを考えれば、リニア中央新幹線は中止すべきです。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
11	メール	駒場	62	景観	車両基地を造成するにあたり、市街に通じる部分の高台の先端までの造成はさけてください。西山の檜の森は残し、緑のカーテンで覆い、下からは全貌が見えないが、「旧市街から深い森を抜け高台にあがると、広々とした車両基地が続いている」ようなコンセプトで計画してください。	●「景観（３）」に基地の緑化について記述
			63	動物・生態系	西山地区は現在でも渡り鳥や地鳥の通り道になっている。市民病院から坂本にかけて広がる丘陵地の周りを【】状の緑の森があります。この森をいかして里山に棲むこれらの小動物の通り道も十分考慮した設計をしてください。	●「動物・植物・生態系（４）」に同趣旨記述 分断も問題であるが <u>改変地域の縮小を要望</u>
12	文書	太田町	64	磁界	発生する強力な電磁波に対する方策・対策もリニア中央新幹線の基本的な問題であり、未だ解決されていないものです。JR東海は健康への影響は無きに等しいと留め、何ら対策を施していません。疑わしきは対策すべきで、またその危険性は過少評価してはなりません。	●「磁界（１）（２）（３）」に記述
			65	水環境	地下水脈の枯渇、変化に伴う河川の枯渇が予想されます。	●「地下水」「水資源（２）」に記述
			66	廃棄物	放射性物質を含んだ残土処理による環境破壊並びに健康被害、そして生態系への悪影響などが問題になります。	●「土壌」に十分に注意する内容を記述



# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
13	文書	福岡	67	事業計画	リニア中央新幹線の電気はどのように賄うのでしょうか。浜岡原発ありきでしょうか？全く理解できません。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
			68	事業計画	前代未聞の未知の地層を長大なトンネルを掘削するという工事に対して大した議論もないままにゴーサインを出してよいのでしょうか。活断層、トンネル残土、地下水脈の検証はされているのか。検討、議論されなければならないことは山積みされたままではないでしょうか。	●「その他（２）」に慎重な計画設計を要望
			69	磁界	電磁波の問題についてさらなる検証が必要だと考えます。	●「磁界（１）」に第三者機関による再検証を記述。
			70	騒音・振動・景観・日照阻害	騒音、振動、景観、日照等の検討、議論すべきことは多々あると思われます。	●「騒音・振動」「景観」「日照阻害」に問題があることを捉える。
			71	事業計画	不安いっぱいのリニアに未来を託したような市政運営に疑問を感じます。駅の利用者がどれほどなのか過大予想が先行していることに疑問を感じます。リニア事業は一時凍結して幅広く検討、検証し議論することを求めます。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
14	文書	瀬戸	74	騒音・磁界	騒音・磁界の発生が起り得るものと認識します。基準以下であっても、発生をゼロに近づける対策、対応をお願いします。	●「騒音・振動」「磁界（２）」「その他（４）」で記述
			75	景観	坂本地区には高さ約30m、幅約50mの高架橋が設置され、著しく景観が阻害される。住民の景観権を認めるべき。名古屋方面に向かって、右側に約50m、左側25m幅の緩衝地を設定し、その緩衝地内の居住家屋に対し、移住・移転を希望する者に対し補償対象とするなど、柔軟に対応し速やかに建設に着手できるように提言します。	●「日照阻害（３）」「景観（４）（５）」に同趣旨記載。 後述部の補償については市からJRへ意見書とは別に伝達すべき内容
15	メール	茄子川	76	日照阻害・景観	30mもの高架について納得できない。また、リニア線と在来線に挟まれる家をつくらないように設計してほしい。	●高さについて「日照阻害（３）」「景観（４）（５）」に記述
			77	日照阻害・景観	目の前の高い建物に圧迫感を感じながら生活しなければならない。駅、高架の北側になる家全てに補償をしてほしい。	市からJRへ意見書とは別に要望すべき内容（＝9、12）
			78	景観	中切地内を通過し、二軒屋へのアクセス道路は必要ありません。むしろ路線北側に緩衝緑地帯を設け、自然あふれる景観に近づくようにしてほしい。	アクセス道路は仮定計画の要望である。 ●緩衝帯の幅の捉え方については手法のひとつとして「日照阻害（３）」に記述
			79	その他	近隣でのこれ以上の大規模開発（工業団地、住宅団地）は自然破壊を伴い、私たちの生活環境に致命的な影響を及ぼすと考えられるため、絶対にしないよう強く要望します。開発のため山を削る、伐採には反対です。	JR事業と直接関係が認められない仮定の要望であり、市が受け止める内容
			80	廃棄物	工事中の子ども安全が心配です。市として対策してください。	●「その他（１）」に記述 通学路対策は詳細計画段階で市として対応する
			81	事業計画	麦の穂学園の傍を線路が通ることは納得いきません。	●「騒音・振動（２）」で社会福祉施設への影響が及ばないよう環境保全措置を要望
		82	全要素	坂本地区、沿線に住む私たちにはつらく、悲しく、憤りそのものです。どうか我慢して生活をしないでいいようにしてほしい。	●「その他（３）（４）」に近隣住民からの指摘には適切な措置検討と実施を記述	
16	メール	太田町	83	事業計画	子供達には今ある自然の素晴らしさとそれを大事にすることを教えてください。発展のために少々の犠牲は仕方ないという大人の姿を見せないでほしい。リニアを作らないでください。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。

# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

以下は、市外者からの意見であり、受付はしないものの、一応参考として仕訳を行った。

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
参考	メール	(土岐市)		事業計画	環境面からも経済面からもデメリットが多すぎる。速いというだけで他を犠牲にするリニアの開発はやめるべき。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。
参考	メール	(恵那市)		事業計画	環境問題や安全性、電力問題などで便利さ以上の心配要素が多いです。	●「その他(2)」に慎重な計画設計を要求する内容の記述
				事業計画	今後東海地震が起きた場合を考えるとリニアの建設は中止した方がいいように感じます。	●「その他(2)」に慎重な計画設計を要求する内容の記述
参考	メール	(扶桑町)		廃棄物	膨大な残土の集積地や処分地について明確に示されていない。準備書のやり直しを強く求める。	●「廃棄物(1)」に搬出計画を求める記述
				廃棄物	ウランやトリウム、そのほか有害物質について、国が定める基準よりも厳しい自主管理基準を設けて管理すること。	●「土壌」で厳しい管理体制の構築を記述
				騒音	予測地点の現況の騒音の数値を明示すること。現況レベルに騒音を抑えるよう強く求める。	●「その他(4)」に現状との比較において出来る限りの負荷軽減を記述
				微気圧波	無視できない騒音であるため、これについて評価を行うよう強く求める。	●「微気圧波」に事後調査の実施と基準との整合性を図ることを記述
				磁界	乗客が乗り降りする際の最大曝露数値を示すよう強く求める。	●「磁界(3)」に駅内及び車内の予測値と健康への影響を明確にすることを記述
				計画全体	5kmごとの脱出口はおよそ安全対策からは現実的でなく、少なくとも5倍以上の脱出口は必要である。本アクセスをやり直すよう強く求める。	●「その他(2)」に安全確保を記述
				水質・地質	ウラン、トリウム濃度の測定を行うよう強く求める。	●「土壌」で厳しい管理体制の構築を記述
				廃棄物	発生した残土を公共事業等の埋立に利用する場合、環境影響評価を行った上で、自治体住民に対し、予め説明会を実施し、住民合意を得るよう強く求める。	排出計画が示された段階で協議すべき内容。
				温室効果ガス	現行の東海道新幹線の東京一名古屋間と比較してどのくらい増大するのか明示するよう強く求める。少なくともそれ以下に排出を抑えるよう強く求める。	●「その他(2)」に慎重な計画設計を要求する内容の記述
				事業計画	地震等の災害時にリニア中央新幹線が運行できるのか疑問である。	●「その他(2)」に慎重な計画設計を要求する内容の記述
				植物	評価において、「相当離れた地域」にあり影響がないという表記になっているが、曖昧であり全く判断ができない。生育地点をより具体的に示すよう強く求める。	●「動物・植物・生態系(3)」で湿地の影響する全ての湿地を対象に要望
	動物	ハクマ、オオタカ、サシバの保全措置として、「段階的に施工規模を大きくし、徐々に工事に伴う騒音等に慣れさせること等により、猛禽類等の重要な種への影響を低減できる。」とあるが、この科学的根拠を明示するよう強く求める。この助言を行った有識者等の氏名も明示すること。なお、オオタカの保全措置として、ペアリングが始まる頃からヒナの巣立ちの時期までは工事を行わないよう強く求める。	●「動物・植物・生態系(1)」に一部記述。専門家の助言と立入を定期的実施することを求める内容を記述			

# 中央新幹線環境影響評価準備書に対する市民意見

番号	提出方法	地域	細目	環境要素	意見	意見書への仕訳
参考	メール	(多治見市)		廃棄物	ウランを含んだ残土はどのルートを通して運搬し、どこで処理を行い利用するのか。	●「廃棄物（１）」に搬出計画を求める記述
参考	メール	(土岐市)		廃棄物	瑞浪市には私たちのウイークエンドハウスがある。非常口がすぐそばにできる予定で困ります。ウラン鉱床が含まれた土もそこから運び込まれるでしょうし、捨てる場所もどこなのかわかりませんが、ほど近い所なのでしょう。どこの場所だろうと自然破壊には反対です。	市域外の要望であるが、一部「廃棄物」に搬出計画を求める記述
				事業計画	地下深くを走るリニアは人間が乗るものではありません。	事業そのものに対する評価であり、今回の市の意見として採用しない。